

かづの微生物農法研究会便り

H23.7.1 No.104 (通算)



夏来たる。

今年の夏も猛暑になるんでしょうか？

去年の夏はいつからいつまでだったのか？稲の収穫直前までずっと暑かったような気がしますが、去年は最初の頃冷夏の予報でした。それがいつか取り消されて暑くなるかも？との気象庁の発表となった経緯があります。今年も6月後半は暑い日が続きましたが、この夏はどんな夏になるのでしょうか。昨年も同じことを書きましたが、夏は夏らしく冬は冬らしく、四季の移り変わりがはっきりしていかれると、美味しい農作物作り、美味しいお米作りには最適なのです。このところ、春や秋がはっきりとしていない年が多いように感じます。かつては、内陸の盆地の鹿角地域は北国ながら夏はかなり暑くなるものの、8月19日・20日の地元のお祭り「花輪ばやし」を境に昼は秋の日差し、夜は急激に冷え込むというはっきりした季節の移り変わりが感じられたものです。そして晩夏から秋にかけての気温の大きな寒暖差は、稲にもりんごなどの果樹にも、引き締まった緻密な美味しさを生み出します。観光地たる鹿角地域では、作物以外にも、十和田湖や八幡平のきれいな紅葉というのはメリハリのある季節の移り変わりやと寒暖の差があって初めて生まれます。ですから日本の農作物は美味しいということ、日本の四季は美しいということは決して別々のことではないと考えます。季節の移り変わりや美味しい生産物に恵まれた環境にある日本、温暖化が叫ばれて久しく、省エネも求められている昨今ですが、はっきりとした美しい四季とともに、美味しい農作物生産の環境を後世に残していきたいものです。私たちも、それに向けて微力ながら努力していきたいと思っています。

「微生物農法」って何のこと？

水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手いかなかったりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる作物作りをするというのが微生物農法です。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント！



お買い上げいただいた商品についてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをもらえなくプレゼント！ お問い合わせはTel0120-08-2028まで。

生産地から

当地鹿角は北国とはいえ、夏は30℃を越えとても暑くなります。そんな暑い日には、鹿角の中心部にある史跡尾去沢鉱山の観光坑道へ。かつて金銀銅の鉱山として栄えた手掘りトンネルは総延長800km。その中は年中通して13℃！世界でも屈指の硬い岩盤の中はいつもひんやりしていて、観光がてらの避暑には完璧です。ただし、羽織るものを用意しておかないと風邪ひくかも。



7月中旬になると、稲の体の中には稲穂の赤ちゃんが出来始める。人と一緒に、この時期の水管理や天候、気温がとても大事。まだこんなに小さくても、穂の粒の形までしっかりと見て取れる。自然はまさに神秘。



毎年8月19日・20日の二日間行われる、鹿角で一番盛り上がるお祭り「花輪ばやし」。東北で一番遅い時期に催される夏祭りのひとつであり、収穫を祈念する奉納祭でもあります。毎年「花輪ばやし」には地元人口の数倍の観光客が訪れています。宮大工の手による総漆塗りの絢爛豪華な屋台(山車)と雅な中にもとても勇壮なメロディーのお囃子は、東北の片田舎にありながらも日本三大囃子と称えられるほど。是非一度、体験しにいらして下さい!!

<http://umaikome.jp>

ホームページも是非ご覧下さい。



WEBショップ 安保店長のつばやき
@ambotencho

初秋に、こんなに美味しい桃が食べられる。



銘産 かつの北限の桃

「北限のもも」は、秋田県鹿角市で栽培されている、本州で最も遅い時期に収穫されるももで、甘味が絶妙にのった品種「川中島白桃」が主力品種です。出荷は9月10日前後となります(収穫前の天候により前後します)。ご希望の方は安保金太郎商店までご連絡ください。市場で引っ張りダコの「北限のもも」、ぜひお試しください。

数と出荷期間に限りがありますのでお早めにご予約下さい！
一番美味しい時期のとれたてを発送致します。



園主 平野亮一夫妻
平野りんご園より直送いたします

美味しいお米と特産品のご注文/お問合せ先は・・・
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3
有限会社 安保金太郎商店
フリーダイヤル：0120-08-2028
e-mail kintaro@umaikome.jp



ぜひ一度 かつの 鹿角へ遊びに来てみて下さい!

有限会社 安保金太郎商店
かつの微生物農法研究会
事務局

文・写真：安保 大輔

この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月発送などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしております。